



今回は「どうぶつ愛護講演会」についてのお話です

近年、私たちの身近な地域でも、犬や猫をはじめとした動物を取り巻く環境が大きく変化しています。

保護活動の現場では、野犬や野良猫の増加、飼育放棄、地域トラブルなど、さまざまな課題が生じています。

こうした問題を正しく理解し、動物たちの命を守りながら、人と動物がともに幸せに暮らせる地域づくりを進めるため、利根町では「第3回 どうぶつ愛護講演会」を開催します。

それぞれの分野で活動している講師の皆さんとともに、私たちにできることを考え、命について向き合う一日にしましょう。

ぜひ、ご家族やご友人をお誘い合わせの上、ご参加ください。



●第3回どうぶつ愛護講演会概要

日時	主催	会場	講師・参加団体
11月8日(日) 12:30 開演	利根町動物愛護協議会	利根町文化センター	・串田 誠一氏(講師) ・NPO 法人 わんにゃんレスキュー OHANA ・ゼロイバ ・しっぽ研究所 ・NPO 法人 アニマルケアハウスちゃまの家

●問い合わせ 利根町動物愛護協議会事務局(生活環境課 環境衛生係) ☎68-2211(内線236)

認知症地域支援推進員のつぶやき No.98

「認知症ケアパス」をご存じですか？

「認知症ケアパス」とは、認知症とともに暮らす方が、症状の変化に応じて、どのような医療や介護、相談支援を受けながら生活していけるのかをまとめたもので、利根町には、「認知症の進み方にあわせて」という認知症ケアパスがあります。

「最近、もの忘れが増えたかも…」「この先どうなってしまうのだろう」と、不安を感じる方やご家族もいらっしゃると思います。認知症ケアパスには、相談先や地域で参加できる活動、利用できるサービスなどが紹介されており、これからの生活を考えるための道しるべになります。

認知症になっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるためには、一人で抱え込まず、早めに相談することが大切です。認知症ケアパスを参考にしながら、ご本人やご家族、地域の支援者と一緒に、その人らしい暮らしの道筋を考えていきましょう。もっと悪くなったら考えようという声もよく聞きますが、予防の段階から少しずつでもサービスを利用していくことで、認知症の予防にもなりますし、この先の安心を得られます。

認知症ケアパスは市町村ごとに内容が異なります。利根町のケアパスも、ぜひ一度手に取ってご覧ください。

私たちはここにいます！

認知症地域支援推進員配置施設

- 利根町地域包括支援センター ☎68-2211
- 利根町保健福祉センター ☎68-8291
- 複合福祉施設 響 ☎61-8500
- 介護老人保健施設 もえぎ野 ☎84-6081
- 地域密着型介護施設 あおば ☎85-4860